



株式会社丸井グループ
代表取締役社長

青井 浩

東日本大震災により被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに皆さまの健康と1日も早い復興をお祈り申し上げます。

マルイグループの経営理念とCSR

マルイグループは、「お客さまのお役に立つために進化し続ける」という理念のもと、社員一人ひとりの「お客さまのお役に立ちたい」という想いを個人・企業の成長につなげることをめざし、事業活動を行っております。近年、企業の社会的責任についての関心が急速に高まっておりますが、これまでもクレジット・ビジネスを進化させることで、常にお客さまの立場に立った企業活動を続けてまいりました。また、事業の核である「ファッション」を切り口とした社会貢献「救援衣料活動」(海外への衣料品の寄贈活動)は、今年で21年目を迎えております。

今後も、変化する時代の中で「何がお役に立てるのか」を常に自らに問い続けながら、マルイグループとして取り組むべきCSRについて考え、実行していきたいと思っております。

お客さまと共に本業を通じたCSR活動を実践

CSRには、大きく二つの側面があると思っております。まず第一に、企業として社会に対して責任をもった事業活動を行うということです。マルイグループは、企業活動の根幹となるコンプライアンスの徹底は勿論のこと、環境問題についても負荷の少ない効率的な経営ができるよう、ESCOを活用した最新設備を導入するなど、年度別のエネルギー削減目標を立て、計画的に実行しております。また、衣料品のリユース・リサイクルも積極的に推進するなど、低炭素社会の実現に向けて多くの取り組みを進めております。

もう一つは、商売そのものを通じた社会貢献を進めることです。今、世の中では環境や社会貢献への関心はとて高く、同時に環境や人への優しさに配慮したライフスタイルに対するニーズもたいへん大きくなっています。私どもはトレンドファッションだけにとどまることなく、このような新しい価値観をおしゃれに取り入れていくライフスタイルを若々しい気持ちをお持ちのすべてのお客さまと共に考えてまいりたいと思っております。お客さまから「また誰かに着て欲しい」という衣料品をお預りし再利用する「衣料品下取りチャリティー」もこの一環で、ファッションを通じた循環型社会の実現に向けた取り組みをおこなっております。現在は、この仕組みを基盤に、東日本大震災の被災地において寄贈イベントも実施しております。

このように、今後も社会性を踏まえ、お客さまと共に進化していけるような取り組みを着実に実践していくことで、マルイグループならではの社会貢献を進めていきたいと考えております。

「お役にたつために、いま、できること」

CSRとはたいへん幅広く、奥深いものですが、CSRを進める上で最も重要なことは、全社員が「社会のお役に立つ」ということを、全ての判断基準とし、物事を考え行動するようになることだと思っております。人は少なからず、社会に貢献したいという欲求を持っています。身近なことでも良いから「いま、できること」を、まず行動に移してみる。そういった行動を積み重ねることで、社員一人ひとりが企業人としてではなく、「社会人」として成長する。そのことでまさしく社会に貢献できる企業へと成長していくことになるものと考えております。

このような考え方にに基づき、私たちの「いま、できること」をレポートとしてまとめさせていただきました。CSRという大きなテーマを前に、私どもの取り組みはこれからですが、ご意見やご要望をいただきながら、さらに充実した活動に発展させていきたいと思っております。

今後ともご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。